

社会福祉法人一麦会(和歌山市・紀の川市)「ゆめ・やりたいこと実現センター」に関する取組

社会福祉法人一麦会(麦の郷)について

<特色>

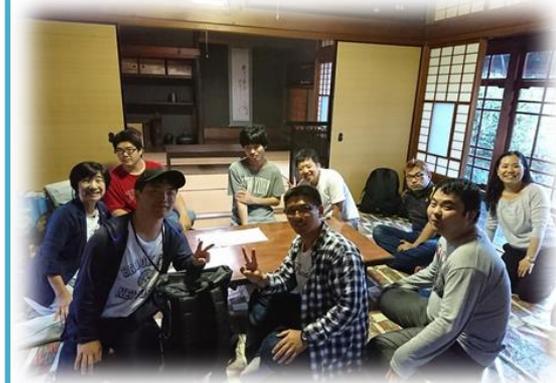
一麦会では、支援者／被支援者という関係ではなく、地域社会の中で「共に歩み、共に働く」ことを大切に、40年間にわたり実践を継続。働く当事者たちは、支援を受け保護をされる対象ではなく、仕事を任され誇りと自信をもち地域で働いている。

<経緯・実施事業等>

- ・1977年に任意団体「たつのご共同作業所」として発足。障害者・家族との出会いの中で「ほっとけやん(放っておけない)」として「地域協同」のもと、障害種別を超え、福祉の谷間や対象とされなかった人についての支援と仕組みづくりを推進。
- ・自立訓練事業(生活訓練)、生活介護、相談支援、就労支援(A型、B型)、グループホーム、児童発達支援、ひきこもり者支援(県事業)等、計38事業を実施。

<生涯学習活動>

- ・「ボズック」のちんどん楽団、「結い」における学習、集団活動、「青年学級すばらしき仲間たち」の当事者活動、アートサポートセンターRAKUの表現活動や作品展、みんなで踊り隊のよさこい踊りなどを展開。



学習プログラム構成と実施体制(事業名:「ゆめ・やりたいこと実現センター」の立上げ)

やりたいことを**提案・企画・実現**みんなで創る活動

人は生涯にわたって学び続け発達する存在
学ぶことで幸せを追求することが生涯学習

夕刻のたまり場(居場所)

ゆっくりしたり、食べたり、飲んだり話したり、フリーな居場所(毎週水曜日16時~20時)

<参加者の声>

- ・みんなと「やりたいこと」を話して、コミュニケーションがとれることがいい。
- ・仕事とか、年齢とか違う人たちと会えるのがいい。

つぶやきサポート(相談支援)

愚痴や困りごと、嬉しいことを共有できる場。支援者⇄被支援者の関係ではなく共に生きる“なにかま”として受けとめ、分かち合う。

shitaina(したいなあ)work shop(講座)

「興味はあるけどしたことがない」「やってみたいけどひとりではむずかしい」そんな「やってみたい!」を出し合って実現していく

<参加者・家族の声>

- ・作業所以外の居場所がなかったが講座を通じて、居場所ができて楽しそうで家族としてもありがたい。
- ・作業所や職場の人間関係と違い見守ってもらえる場所、教えてもらえる場所でありながら立ち位置が同列なのがいい。
- ・講座や夕刻たまり場の中で家族や友だち同士でもできないことをみんな共にできることが親としてもうれしいし助かる。

逸材発掘・人材バンク

地域には生涯学習のサポーターがいっぱい!
「こんなことができます!」を募り人材バンクに登録。
「教える」のではなく「一緒に」を大切に。人材発信の拠点に。

<連携協議会での意見>

- ・それぞれの共に学び合う講座に意義があり、「よかった」というだけではなく、待ち望まれていたような感じがある。
- ・“ねばならない”ではなく、アメリバ的に広がってきた障害のある人の生涯学習の団体がこの事業によって一堂に会し、他の団体とつながってきたことがすごいと思う。

コンセプト

衣・食・住・働が保障されていることで「生きる」ことができる、そして、学びや活動・役割が保障されていることで「生きる」ことができる。『生』『活』を保障し「ゆめ」や「やりたいこと」を実現させるセンター。

<講座一覧 全32講座(複数開催あり)>

健康(食事)講座、防災グッズづくり講座、書道でアート、ゆる体操講座、金剛山登山&BBQ、ちぎり絵講座)、新聞紙アート、フルーツクリスマスリースづくり、ヨガでこころもからだも気持ちよく、フラワーアレンジ、映画会『パケツと僕!』、映画『真白の恋』、マヤ文明のなぞを探る、障害者の生涯学習についてシャインの活動について、カラオケ教室でみんなと歌おう、桃源郷マラソン・ランニング・クリニック、音楽で学ぼう中国の文化、絵手紙を楽しもう、マジック講座、トークと絵本のつどい、ロケットストーブを作ろう、考古学から見える紀州の歴史、ポリ袋クッキング、俳句に挑戦、マカロニアート

<講師>

市保健師・管理栄養士、紀の川市地域おこし協力隊、診療所医師、精神科医、大学教員、ゴスペルシンガー、外国人、絵手紙作家、マジシャン、絵本作家、その他、専門知識や特技をお持ちの方

連携協議会

関係機関・団体等との連携を図り、企画を実施!

探す! 既存団体の活動や生涯学習の情報収集
伝える! 情報を発信
つながる!(協働する) 連携して一緒に学ぶ・楽しむ